



ならっ子だよ



「な～らの な～らのだいぶつさ～んは てんび（天日）にや～け～て～・・・」

それ、なんの歌？
だいぶつ
大仏さんがどうしたって？



なら（やまと）の「わらべうた」を
うた
歌ったことはありますか？

なら（やまと）の「わらべうた」

女の子が歌っているのは「奈良のだいぶつさん」という「わらべうた」です。聞いたことはありますか？「かごめかごめ」のように数人で手をつないで輪をつくり、その真ん中に鬼が目を両手でおおってうずくまります。みんなはこの歌を歌いながら回り、「うしろにだれがいる」のところで、鬼の後ろで止まった子の名前を声色で当てるという遊びの中で歌われています。

このように、昔から子どもに歌い継がれてきた歌を「わらべうた」と言い、子どもに歌って聞かせる歌・数え唄・手まり唄など、遊びながら歌われるものがたくさんあります。

■ その他の大和のわらべうた ■

「こんこんさん」「いもむしころころ」「ひと山こえて」
「奈良の子守唄」「花いちもんめ」「ちゃつぽ」
「みみずが三びき」など

さて、奈良のわらべうたのなかに、「おんまつりのうた」という歌があるのを知っていますか？

♩ = 約88

おんまつりのうた

せんじょい こ まんじょい こ まんじょの
みちには なにがある おの ない
とり と おの ある とり
と せんじょい こ まんじょい こ

「おんまつりのうた」は、おんまつりの宵12月15日に、大宿所の千乗院へ、塩鯛・鮭・うなぎ・鯉などをお供えして、お祭りをする様子を歌った歌だそうです。「せんじょいこ」は千乗院へ行こう、「まんじょいこ」はみんなで行こう、「おのなとり」はうなぎという意味です。

今年も12月15日の大宿所祭の日には、『もちいどの通り商店街』で、この歌が流されます。

学校紹介

六郷小学校の巻

六郷小学校は、創立46周年を迎えます。標高450メートルの高原にあり、12月に入ると雪の舞う日が多くなりますが、子どもたちは自然の中で元気いっぱいです。

本校では、「六小タイム」という学年の枠を超えた班活動を、年間を通して行います。班で考えた「自由遊び」では、全校生が一体となって外遊びをします。また、「自然の森の中で遊ぶ空間」と、PTAが造った「わんぱくの森」は30年になります。



寒風の吹くこれからは、竹馬の季節。「全校竹馬記録会」が続けられています。高学年になるほど足の置く高さ、間隔、30分間に歩ける距離もどんどん長くなります。「手づくり竹馬」の部門もあり、今年の冬休みも竹馬作りに取り組み子どもたちも、たくさんいることでしょう。これからの「子どもは外で元気に遊ぶ」という原点に戻り、「体力の向上」をめざしたいと思います。

